

第1章 市民からの提言

この章では、参加者が討議を行った結果をもとに、賛同を多く得られている内容を中心に市民提言としてまとめています。

1 テーマ1（練習討議） 公共施設の視察を行い感じたこと。

テーマ1は、討議の練習を兼ねて、グループ討議の流れを確認しながら討議を行いました。午前中に行った現地視察の感想について自由に討議しました。

話し合いの結果、多くの方が抱いた感想として

① 建替え・修繕が必要	71票
② 老朽化・ランニングコスト ・ライフスタイル文化のトータルの設計を	21票
③ トイレ環境整備	19票

という意見に票が多く集まりましたので、以下の内容を含めて市民からの提言とします。

- ① 「建替え・修繕が必要」については、すべての班で意見として挙がりました。

この提案にあたり、班内では、

- ・老朽化は思っていたより深刻。
- ・思いのほか、長年の使用に驚いた。
- ・危険がたくさんある。

などの意見が出されています。

- ② 「老朽化・ランニングコスト・ライフスタイル文化のトータルの設計を」については、公共施設は利用価値が大きいものであることから、生活や文化に根ざしながら、老朽化や運営費などにも配慮した施設整備が必要であるという提案です。

この提案にあたり、班内では、

- ・建物はライフスタイルを創る。箱モノに思想・文化を入れる。
- ・施設の機能を複線化する（昼夜使う・様々な年齢で使うなど）。
- ・老朽化を見据えた建築設計デザインをする。

などの意見が出されています。

- ③ 「トイレ環境整備」については、学校のトイレについて、すべての班で意見として挙がりました。

この提案にあたり、班内では、

- ・校舎が古く洋式トイレが少ない。
- ・トイレが古く清潔感がない。
- ・今の子供は洋式しか使えない場合が多い。

などの意見が出されています。

このほか、多くの提言がなされています。その1つ1つが大切な提言です。さらに、詳しい内容については、次章をご覧ください。

2 テーマ2 公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきか。

現地視察と練習討議（テーマ1）を経て、初日のメインテーマとして、テーマ2では、公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきかを話し合いました。

話し合いの結果、問題解決の方向性として

① 複合化・多目的利用を行う	25票
② 市民の問題意識の向上が必要	18票
③ 統廃合が必要	16票

という意見に票が集まりましたので、以下の内容を含めて市民からの提言とします。

いずれの意見も、施設の老朽化や建替えの実態を視察し、施設保有量や今後の更新費用推計を勘案した結果、厳しい意見となりました。

- ① 「複合化・多目的利用を行う」については、今後必要となる施設の大規模な改修や建替える量を少なくする提案となっています。

この提案にあたり、班内では、

- ・ 今後は複合施設として建設する。
- ・ 大型商業施設とコラボする（大型商業施設内に公共施設を入れる）。
- ・ 他の目的にも共通して使える施設配置とする。
- ・ 公営アパートは、増加する空き家を利用する。

などの意見が出されています。

- ② 「市民の問題意識の向上が必要」については、今回の参加者の中で、視察をした直後に考えた対応策と、市の財政状況等の説明を受けた後で考えた対応策とでは、大きく異なってきました。このため、問題意識を持つことが大切であることを提案しています。

この提案にあたり、班内では、

- ・ 箱物を作ることを利用者も良く考えることが必要。
- ・ 問題を分かり易く広報する。
- ・ 市側に要求するだけでは良くない。

などの意見が出されています。

- ③ 「統廃合が必要」については、3つの班から提案されており、施設を選別することの必要性を提案しています。

この提案にあたり、班内では、

- ・ 必要施設を選別しなければならない。
- ・ 施設の必要性の検討、分析をすべき。

- ・類似する施設は統廃合する。
- ・施設を不要・必要・新たに必要に分ける。

などの意見が出されています。

このほかの提言は、大きく3つの方向性に分かれていました。

施設のあり方に関するものでは、「価値のある古いモノを生かす」、「リサイクルを考慮した建設を行う」、「解体・修繕を行う」、「新設は拡大展開しない」などの提案がありました。

今後の進め方に関するものでは、「長期展望・計画をつくる」、「人材育成が必要」、「老朽化対策の総合的機関を設置する」が提案されました。

財源に関するものでは、「生産年齢人口を増やす」、「税外収入を確保する」、「税財源を見直す」、「利用者の料金負担を行う」及び「外部委託により施設維持費を削減する」などの提案がありました。

今後の人口減少を考えた結果、老朽化する建物の更新費用を少なくする取り組みに意見が集中したほか、財源の確保も必要であるという討議が多くの班でなされました。

非常に多くの提案がなされました。詳細については次章をご覧ください。

3 テーマ3 地域で利用している施設を、どのように見直していくべきか。

2日目は、初日にまとまった3つの方向性のうち、今後の公共施設のあり方につながる2項目の複合化・多目的利用と統廃合について、具体的にどのように実現していくべきかを話し合いました。

午前中は、テーマ3として、地域で利用している施設（学校、市営住宅、公民館・集会施設、老人福祉センター・老人憩いの家、児童センター・児童館）について、どのように見直していくべきかを話し合いました。

話し合いの結果、複合化・多目的利用や統廃合などに関する提案として、

① 統廃合と民間委託について、具体的に検討する	16票
② 施設の機能（サービス）は維持し、 設備（ハコ）は簡素化・集約する	14票
③ 施設の区割りを見直し、広域化を行う	13票
③ 既存・新築の統合複合	13票
③ 民間との協力	13票

が票を集めましたので、以下の内容を含めて市民からの提言とします。

- ① 「統廃合と民間委託について、具体的に検討する」が最も票を集めました。この提案は、公民館・老人福祉センター・地区活動センター・児童館などの統廃合を提案しており、統廃合にあたっては、世代間交流を考慮すること、また、可能なものは民間の専門家に運営委託をすることを提案しています。

この提案にあたり、班内では、

- ・ 不要なハコ物は思い切って解体する。土地は売却又は貸出する。
- ・ 児童館・老人福祉センター・地区活動センターを統合し、地域住民の集いの場にする。
- ・ 統合することによって世代間交流が出来るのではないかな。
- ・ 管理運営は民間活力を利用する。

などの意見が出されています。

- ② 「施設の機能は維持し、設備（ハコ）は簡素化・集約する」が次に票を集めました。

この提案では、施設を集約することにより不便になる地区にはデマンドバスを運行させることにより利便性を向上させる工夫が必要であることが盛り込まれています。

この提案にあたり、班内では、

- ・ 地域で利用できる施設を1つに集約する。
- ・ 学校を統廃合しても良いのでは。距離を考え中心に配置する。
- ・ 老朽化したものは隣接地区と併合する。
- ・ デマンドバスの活用で施設のエリアを広める。

などの意見が出されています。

次いで、③「施設の区割りを見なおし、広域化を行う」が票を集めました。

この提案は、児童数が減少している地区と増加している地区とがあり、学区をもう一度見直していくべきではないか。また、それに伴い設置される公共施設も区割りを見直し広域化を行っていくべきではないかとの提案です。

この提案にあたり、班内では、

- ・将来（地域人口、財政等）を見通したまちづくりを行う。
- ・小・中学校の学区の見直しを行う。
- ・地域を再編する。2，3地区を1つにする。
- ・広域化に対応し、情報・交通サービスを充実する。

などの意見が出されています。

同じ票数で、③「既存・新築の統合複合」が票を集めました。

この提案は、市内に数多くある学校施設などを活用する提案です。学校の図書館・プール・体育館を地域に開放し、地域の方が集まる場をつくります。小中学校や市営アパートに老人福祉センター・児童センター・乳幼児関係施設を入れていくことが盛り込まれています。

この提案にあたり、班内では、

- ・学校の図書館・プール・体育館をみんなで使う。
- ・児童センターをなくし、小中学校の中に入れる。
- ・老人福祉施設も小中学校に入れる。
- ・市営住宅の1階に児童・老人施設をつくる。

などの意見が出されています。

同じ票数で、③「民間との協力」が票を集めました。

この提案では、大型ショッピングセンター内に公民館を入れる。体育館を民間に運営させるという特徴がありました。

この提案にあたり、班内では

- ・ショッピングセンターと公民館を併設すると、利用率の確保につながる。
- ・新しく建てる際は、コンビニやレストランなどを入れる。
- ・体育館を民間のスポーツジムなどに運営を任せ、収入を得る。

などの意見が出されています。

このほか、施設の見直しの考え方として、

- ・地域性の重視や数字のみで考えない。
- ・市民や民間などの多数の意見を取り入れる。
- ・地域住民への十分な説明や理解を得ることが必要。
- ・市立高校は必要か、市で持つべきか。

など、地域で利用している施設の見直し方法についての多くの意見が出ました。

詳細については、次章をご覧ください。

4 テーマ4 全市的に利用している施設を、どのように見直していくべきか。

2日目の午後は、テーマ4として、全市的に利用している施設（庁舎、支所・出張所、ホール、図書館、記念館・博物館、野外施設、体育施設、宿泊施設）について、どのように見直していくべきかを話し合いました。

話し合いの結果、複合化・多目的利用や統廃合に関する意見が多く出ましたが、その前段で、そもそも知らない施設が多くあったことから、施設利用の情報発信についての提言が多くあがりました。情報発信に関する意見として、

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 施設機能の積極的な对外 PR を行う | 16票 |
| ① 施設利用の広報活動をする | 16票 |

が票を集めました。

- ① 「施設機能の積極的な对外 PR を行う」では、利用促進の手法として施設機能の对外 PR を掲げています。

この提案にあたり、班内では、

- ・利用してもらえるよう PR が必要。
- ・オンライン化やIT化による情報周知を行う。ネット利用して積極的に全国展開する。
- ・施設へのアクセスを充実させる。

などの意見が出されています。

この提案と同じ票数で、①「施設利用の広報活動をする」が票を集めました。

この提案では、施設利用のために、広報誌を充実させることや、指定管理者の活動方針の周知、町内会自治会を利用した利用内容の周知を行うことにより、もっと利用しやすくなることを提案しています。

この提案にあたり、班内では、

- ・各施設の PR が不足している。
- ・指定管理者の活動方針が良く分からない。

などの意見が出されています。

複合化・多目的利用や統廃合に関する意見では、

- | | |
|--|-----|
| ③ 施設統廃合による不便は、デマンドバスの導入でサービスを落とさない（IT活用） | 13票 |
| ④ 施設運営の充実化 | 11票 |
| ⑤ 重複施設を減らす | 10票 |

が票を集めました。

③「施設統廃合による不便は、デマンドバスの導入でサービスを落とさない(IT 活用)」では、統廃合の必要性とともに、市民サービスを向上させる提案をしています。

この提案にあたり、班内では、

- ・施設を減らした経費で、バスを導入して運用していくことにより、高齢者や免許がない人の利便性が向上する。
- ・庁舎、支所・出張所は、設置の意義が見出せないものもある。
- ・図書館は、学校や公共の蔵書をネットワークで検索活用する仕組みとしては。

このほか多くの具体的な見直し案について意見が出されています。

次いで、④「施設運営の充実化」が票を集めました。

この提案では、施設の統合・整理・縮小を行いながらも、各施設が提供する住民サービスや利便性を向上させることが提案されています。

この提案にあたり、班内では、

- ・図書館は、統合し専門書等を充実させる。カフェや CD・DVD レンタルとの複合化を行う。
- ・体育施設は、ダンス教室やヨガ・フィットネスなどとの複合化を行う。
- ・博物館等の施設は展示内容の更新（他市との入れ替え）を行う。

などの意見が出されています。

次いで、⑤「重複施設を減らす」が票を集めました。

この提案には、同種の施設を統廃合する内容が盛り込まれています。

この提案にあたり、班内では、

- ・ホールは多い。集約しコストダウンし、上質なソフト（催し）を呼び子ども達に見せる。
- ・図書館はエリア内の小中学校と複合化する。学校には図書館があり複合化可能。
- ・記念館・博物館は類似しているものを統合する。
- ・合併前の全市的に利用している施設を地域利用施設に組み込む。

などの意見が出されています。

このほか、施設の見直しの考え方として、

- ・支所・出張所の統廃合。
- ・施設目的・必要性の再検討（県・近隣地域のとの共同利用、市民意見を募る）。
- ・少子高齢化に対応し民間アイデアを取り込む。

など、全市的に利用している施設の見直し方法について、非常に多くの意見が出ました。

統廃合に関する意見が多くあげられるなか、残したい意見として、「未来の子ども達のために使える施設は思い切って作ろう」という意見も出されています。

さらに、詳しい内容については、次章をご覧ください。